



senko04/で販売する。

## 山陽染工のCF第4弾 テレワーク対応のシャツ発売

楽に着られてきちんと見える

染色整理業の山陽染工(株)(福山市一文字町6-1、松本壮一郎社長、TEL 084・953・2828)は7月7日から、クラウドファンディング第4弾を始めた。テレワークに対応したシャツを「makunake」(<https://www.makunake.com/project/sanyo->

新しい働き方として浸透しつつあるテレワーク。しかし「何を着ていいかわからない」「家なので楽な服装でいたい、オンライン会議などで画面に映った時もきちんと見える格好がしたい」といった、服に関する悩みも多く聞かれる。

そこで同社はおしゃれで画面映えしつつ、部屋着にも使える快適性を備えたシャツを開発した。生地は体感温度調整素材「アウトラスト」で織ったデニムを使用。繊維の中に組み込まれたマイクロカプセル内のパラフィンワックスが吸熱・蓄熱・放熱することで、人が快適に感じる温度を常に保つ。そのため夏場は涼しく着用可能。関連会社の中国紡織(株)(同市一文字町)で製造されている。販売する商品は次の3種類。①ネクタイをしているように見える、ゆったりプルオーバーデニムシャツ②写真③機能性を備えたオーソドックスなデニムシャツ④オーソドックスなデニムシャツのペイズリー柄バージョン

①はユニセックス仕様で、女性が着るとポンチョ風の可愛らしい装いになる。また被って着用可能で、急なオンライン会議が入ってもすぐに対応できるのが魅力。

②と③は袖裏から背中側にかけて、ポロシャツやスポーツウェアにも使われる鹿の子編み素材を使用。伸縮性と通気性に富み、体の熱を逃がす構造となつ

ているためテレワークに最適だ。

①と③に施されたペイズリー柄には、同社の独自技術「段落ち抜染」が用いられている。生地からグラデーション状に色を抜く技術で、濃淡や奥行きのある柄を表現する。縫製を手掛けるのは、縫製業・洋服販売のnuu story(同市新涯町)。福山市のものづくり技術が詰まった商品となっている。

各税込み1万6000円が定価のところ、先着で15%割引の1万3600円から購入可能。最大20%オフになる2枚組プランも用意する。販売期間は8月15日(土)までを予定している。

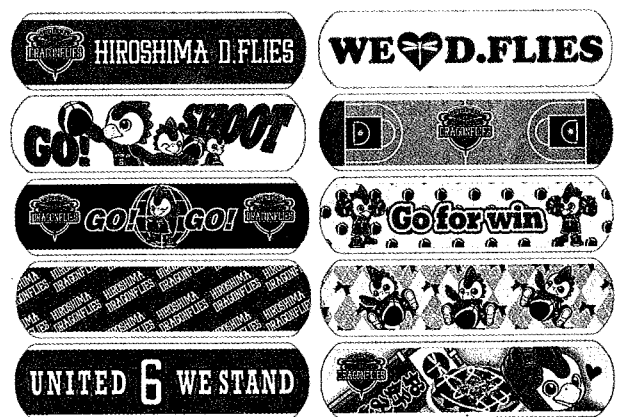
### 葦陽薬品

#### ばんそうこうの新シリーズ発売

広島ドラゴンフライズとコラボ

調剤薬局運営などの葦陽薬品(福山市南蔵王町4-12-30、中島康隆、TEL 084・925・3030)は7月31日(金)、「広島ドラゴンフライズモヒカンアピイ絆創膏」を発売する。今年B1昇格を果たしたバスケットボールチーム・広島ドラゴンフライズの公式キャラクターであるモヒカンアピイや、試合をイメージしたデザインとなっている。

同社はこれまでに(株)広島東洋カープ球団承認商品の「カープ坊や絆創膏」を開発・販売。発売から1年で累計2万



3000個を超えるヒットとなった。新型コロナウイルスの終息が見えない今、医療機関として広島を元気づけたい、広島のスपोर्टスを応援したいとの思いから、広島ドラゴンフライズがモチーフのばんそうこうを企画した。使いやすいスタンダードサイズと同商品は、試合応援時にフェイスシールとして貼るのもお勧め。縦75mm×横119mmの収納ケース付き。プラスチック素材のため、カード入れや小物入れとしても利用できる。全て柄違いのばんそうこう10枚と収納ケースのセットで税込4000円。イヨウ薬局各店と同社事業所で販売する。Amazonや楽天市場、自社オンラインショップ(<https://yo-medical.shop.jp/>)でも取り扱う。